

平成 16 年 9 月 29 日

各 位

本店所在地 東京都港区西新橋一丁目 10 番 2 号
投資法人名 ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人
代 表 者 執行役員 木暮 康明
コード番号 8 7 2 1 (大証ベンチャーファンド市場)
問 合 せ 先 執行役員 木暮 康明
電 話 番 号 03 - 3591 - 1604

新規投資のお知らせ

本投資法人は平成 16 年 9 月 29 日付で下記のとおり投資を行いましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 投資資産 関西事業創造プロトタイプング 1 号投資事業有限責任組合
2. 投資金額 2 億 9,900 万円 (本投資法人純資産の約 8.2%)
3. 投資資産の概要

今回、投資を行った資産は、株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティング(以下「CCC」と言う。)を無限責任組合員、本投資法人を有限責任組合員とする投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づく投資事業有限責任組合(以下「本投資事業組合」と言う。)です。本投資事業組合の事業目的は、大阪を中心とした関西地区の企業のうち、永年培ってきた確かな技術力や営業ノウハウを持ちながら、グローバル競争の中で経営資源の選択と集中を迫られた結果、遊休化させている人材や研究開発成果等を MBO、スピノフ、スピアウト等の手法により母体企業から切り出し、事業価値を大きく成長させることを目指した投資活動を行うことです。事業価値の創造のために、資金支援のみならず、ハンズオン型の経営支援を行うことが特徴です。

CCC は、偉大な先人の残した関西の事業家の志を受け継ぎ、地元関西の地で事業価値創造型経済モデルを確立することをミッションとしている会社で、企業家精神と事業創造ノウハウに基づくビジネスモデル・リストラクチャリング・関西におけるリアルタイムかつワンストップでの事業再生サービス・最先端のプロジェクト・マネジメントによるスピードとクオリティの両立をコア・コピタンスとしています。

本投資事業組合への投資を通じ、本投資法人の資産運用の基本方針に謳われている大阪府下への未公開株への投資を推進し、新たなコンセプトに基づく投資手段により中長期の資産価値増大が見込まれると考えております。なお、今後の投資の状況によっては、本投資法人からの出資金総額を 10 億円まで拡大させることも想定しております。

貼付資料：プレスリリース資料(株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティング)

【関西事業創造プロトタイプング1号投資事業有限責任組合の特徴】

(1) 大阪を中心とした関西地区に所在するベンチャー企業等に投資

事業価値創造型経済モデルのプロトタイプを提示し、関西経済の活性化の果実としての投資収益を実現することを目指します。大阪府では、広く一般投資家から未公開ベンチャー企業への資金供給を図り、成長性の高い府内ベンチャー企業へ投資する「エンゼルフاند事業」を推進（*財団法人大阪産業振興機構が本投資法人へ10億円出資）していますが、今般、本投資法人が本投資事業組合に投資することにより、MBO、スピンオフ、スピンアウト等によって設立される府内のベンチャーへの投資を支援する新たな取り組みになります。

(2) 三洋電機グループとの連携

三洋電機株式会社の子会社、三洋電機キャピタル株式会社(大阪府守口市 社長:川上浩生)とCCCとは、案件発掘や投資活動での幅広い連携についての合意がなされています。この連携による具体的な効果として、良質な案件発掘や大型案件への共同投資による対応のほか、豊富な物作りのノウハウと人材を有する三洋電機グループの協力によって、製造業関係の投資先に対する経営支援の質を向上させることが可能となります。

(3) アドバイザリー・ボードの設置

CCCは独自に関西在住の有識者で構成されるアドバイザリー・ボードを設置し、投資事業組合運営のガバナンスの向上を図ります。

アドバイザリー・ボード・メンバー

川上哲郎氏(住友電気工業株式会社 相談役)

館糾氏(株式会社カネカ 相談役)

忽那憲治氏(神戸大学大学院経営学研究科 助教授)

桑山齊氏(弁護士法人御堂筋法律事務所 パートナー弁護士)

【ご参考】株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティングの概要

設立日: 平成15年3月15日

本店: 兵庫県神戸市中央区京町79番地 日本ビルヂング

資本金: 1,000万円

代表者: 山本 一彦 代表取締役CEO

(住友電気工業株式会社、株式会社野村総合研究所(企業財務調査室)を経て、情報通信系ベンチャーなどで、財務、経営戦略の責任者を経験。1998年、創業期のベンチャー企業への投資を専門に行うブティック型VC(株式会社クラシック・キャピタル・コーポレーション)を設立し、ベンチャー企業投資、戦略コンサルティング、M&Aなどに取り組む一方、2000年には、自らITベンチャー(株式会社アール・ツアー・イノベーション)を起業。ベンチャー・キャピタリストとして、またアントレプレナーとして企業経営を実践。)

事業概要: 事業創造コンサルティング、事業再編コンサルティング、事業再生コンサルティング、M&Aコンサルティング、企業会計・法人税務コンサルティング、国際税務コンサルティング、プライベートエクイティ投資

以 上

News Release

報道関係者各位

平成 16 年 9 月 29 日

株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティング

関西での事業価値創造型経済モデルの確立に向けた 「関西事業創造プロトタイピング・ファンド」の設立について

関西にてコーポレート・ファイナンスを軸にした事業価値創造型のコンサルティング・サービスを提供している株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティング(神戸市中央区 社長:山本一彦、以下「CCC」)は、今般、関西事業創造プロトタイピング1号投資事業有限責任組合(以下、「関西事業創造プロトタイピング・ファンド」)を設立いたします。

大阪を中心とした関西地区の企業には、永年培ってきた確かな技術力や営業ノウハウを持ちながら、グローバル競争の中で経営資源の選択と集中を迫られた結果、それらを遊休化させているところが少なからずあります。「関西事業創造プロトタイピング・ファンド」は、このような人材や研究開発成果等をMBO、スピンオフ、スピンアウト等の手法により母体企業から切り出し、事業価値を大きく成長させることを目指した投資活動を行います。事業価値の創造のために、資金支援のみならず、CCCによるハンズオン型の経営支援を行うことが特徴です。

本ファンドは、ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人(大阪証券取引所ベンチャーファンド市場上場)から当初3億円の出資を受け入れ、設立されます。同投資法人は、ソフトバンクグループのソフトバンク・インベストメント株式会社(東証一部上場)の子会社、エスピーアイ・アセット・マネジメント株式会社(東京都港区 社長:松井一幸)が運用する上場ファンドです。今後の投資の状況によっては、本ファンドの出資金総額を10億円まで拡大させることが可能です。

添付資料

投資に際しては、積極的に他社（ファンドを含む）とも協調してまいります。その一例として、三洋電機株式会社の子会社、三洋電機キャピタル株式会社（大阪府守口市 社長：川上浩生）とは、案件発掘や投資活動での幅広い連携についての合意がなされています。この連携による具体的な効果として、良質な案件発掘や大型案件への共同投資による対応のほか、豊富な物作りのノウハウと人材を有する三洋電機グループの協力によって、製造業関係の投資先に対する経営支援の質を向上させることが可能となります。

一方、大阪府では、広く一般投資家から未公開ベンチャー企業への資金供給を図ることを目的として、会社型投資信託方式によるベンチャー企業向け資金支援スキーム（エンゼルファンド事業）を実施し、成長性の高い府内ベンチャー企業への投資促進を図っています。今般のファンドは、財団法人大阪産業振興機構を通じて既に 10 億円を資金拠出しているベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人を活用して設立することとなるもので、大阪府にとっては、MBO、スピンオフ、スピンアウト等によって設立される府内のベンチャー企業への投資を支援する新たな取り組みになります。

また、CCC では独自にアドバイザリー・ボードを設置し、ファンド運営のガバナンスの向上を図ります。アドバイザリー・ボードは関西在住の有識者で構成されており、川上哲郎氏（住友電気工業株式会社 相談役）、舘糾氏（株式会社カネカ 相談役）、忽那憲治氏（神戸大学大学院経営学研究科 助教授）、桑山齊氏（弁護士法人御堂筋法律事務所 パートナー弁護士）の 4 名から成ります。このような各方面からの協力・支援を得て、「関西事業創造プロトタイプ・ファンド」は、事業価値創造型経済モデルのプロトタイプを提示し、関西経済の活性化の果実としての投資収益を実現することを目指します。

以 上

お問い合わせ先

株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティング 担当：早川
神戸市中央区京町 79 番地日本ビルヂング 403 号
Tel：078-327-3510 Fax:078-325-1667
e-mail：h.hayakawa@corporatecapital.co.jp

添付資料

【ファンドの概要】

- 名 称 : 関西事業創造プロトタイピング1号投資事業有限責任組合
ファンド金額 : 3億円(当初)
当ファンドの規模は、当初3億円で発足しますが、投資案件が順調に積み上がれば、最大10億円まで増額するほか、第2号、第3号のファンドの設立を予定しています。
- 出資母体 : 無限責任組合員 株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティング
有限責任組合員 ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人
以上の組合員より構成される二人組合として運営します。

【株式会社コーポレート・キャピタル・コンサルティングの概要】

- 代表者 : 山本 一彦
本社 : 神戸市中央区京町79番地日本ビルヂング
資本金 : 1,000万円
事業内容 : 事業創造コンサルティング、事業再編コンサルティング、事業再生コンサルティング、M&Aコンサルティング、企業会計・法人税務コンサルティング、国際税務コンサルティング、プライベートエクイティ投資
<http://www.corporatecapital.co.jp>

添付資料

【ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人の概要】

種 類 : クローズドエンド型証券投資法人
所 在 地 : 東京都港区西新橋1丁目10番2号
役 員 : 執行役員 木暮 康明
(エスピーアイ・アセット・マネジメント
株式会社取締役運用本部長兼運用部長)
監督役員 小西 輝子(弁護士) 高橋 邦明(弁護士)
従 業 員 : 投信法上、本投資法人が従業員を雇用することは認めら
れていません(投信法第63条第2項)
出 資 総 額
出 資 総 額 : 3,564,588 千円
発行済投資口数 : 358,080 口
投資口の総口数 : 1,000,000 口
出資総額の推移 : 平成14年3月15日 2,000,000 千円
平成14年4月19日 2,500,000 千円
平成16年2月6日 3,564,588 千円
決 算 期 : 1月末(年1回)
関 係 法 人
一般事務受託会社 : 株式会社だいこう証券ビジネス
三井アセット信託銀行株式会社
資産運用会社 : エスピーアイ・アセット・マネジメント株式会社
資産保管会社 : 三井アセット信託銀行株式会社
未公開株式評価会社 : 株式会社日本未公開企業研究所
会 計 監 査 人 : 監査法人トーマツ

<http://www.v-revitalize.co.jp/>

【スキーム概観図】

